

犯罪のない安全で安心なまちづくりに向け、 4つの「かける」に取り組みましょう！！

気にかける



犯罪は決して他人事ではないということを認識し、日頃から自分が犯罪にあわないよう十分に気をつけましょう。

家族が犯罪にあわないよう、日ごろから犯罪の手口や対応方法などを話し合い、「いざ」というときに適切な対応ができるよう考えておきましょう。

家族で 防犯



地域の子どもたちが犯罪にあわないよう気をつけ、通学路等の安全点検を進めましょう。

また、犬の散歩や健康ウォーキングを、児童や生徒の登下校時にあわせて実施し、地域で子どもを見守りましょう。



鍵をかける



泥棒の多くはカギの掛かっていない場所を探して、そこから侵入します。

空き巣や忍び込みの被害にあわないよう、施錠を徹底しましょう。また、少しの外出でも必ず施錠するよう習慣づけましょう。



二重ロックで安心！！



自転車やオートバイの盗難被害にあわないよう、駐輪時には必ず鍵をかけましょう。

施錠の際は、本体の鍵と別にワイヤー錠等を併用し、ツーロックにすればより安全です。

声をかける

犯罪者は覚えられるのを嫌がります。出会った人に対するあいさつを励行することにより、地域の連携を強め、不審者に対する抑止力が高まりますので地域で挨拶を励行しましょう。



通学路での子どもたちを見守るため、登下校時のあいさつ運動を励行しましょう。



青少年の健全育成のため、駅前や店舗前に集まる少年達には積極的に声をかけましょう。また、万引きを防止するため、店舗内での積極的な声かけをすすめ、万引きは犯罪であるという事を周知徹底していきましょう。



呼びかける



犯罪者を近づけない環境づくりのため、防犯カメラやセンサーライトなどの設置を進めましょう。

侵入犯罪では、部屋から金銭、貴金属などの盗み出しのほか、居直り強盗に変身するなど凶悪な犯罪も予想されますので、補助錠の設置、ビッキング対策、防犯ガラスの採用などを進めましょう。



夜間、玄関灯や門灯を点灯することは、歩行者へ安心感を与えるとともに、ひったくり・性犯罪・住宅等への侵入などの各種事件事故の防止に効果がありますので、各家庭・事業所等の玄関灯や門灯を夜間点灯しましょう。

